

太政官權大書記官  
兼外務權大書記官  
正六位村田保註釋



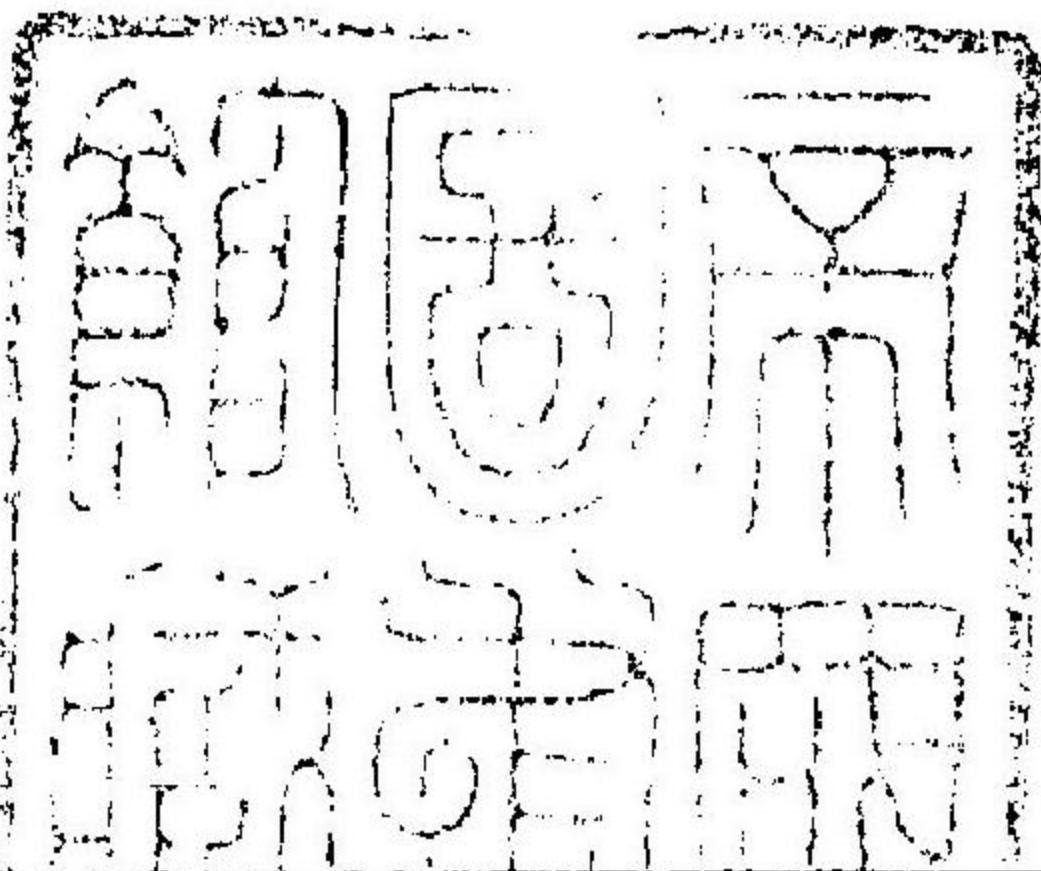
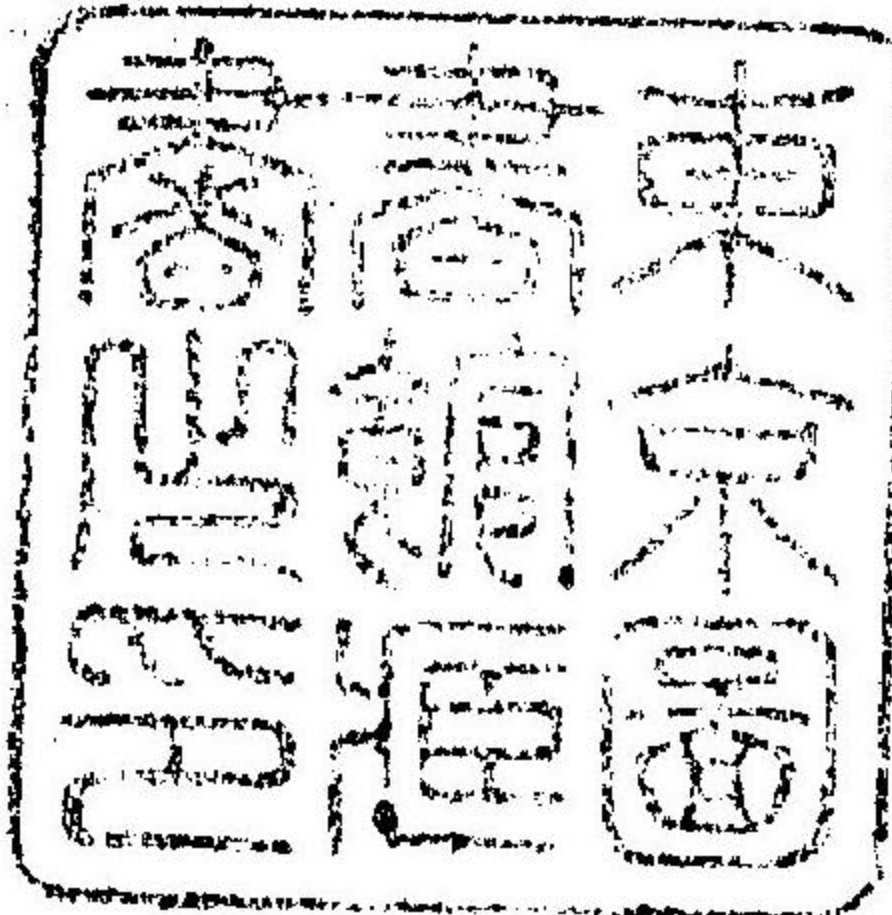
再版卷之三目表

第百二十六條	第百二十七條	第百二十八條	第百二十九條	第百三十條	第百三十一條	第百三十二條	第百三十三條	第百三十四條	第百三十五條	第百三十六條	第百三十七條	第百三十八條	第百三十九條	第百四十條	第百四十一條	第百四十二條	第百四十三條	第百四十四條	第百四十五條	第百四十六條	第百四十七條
第一	第二	第三	第四	第五	第六	第七	第八	第九	第十	第十一	第十二	第十三	第十四	第十五	第十六	第十七	第十八	第十九	第二十	第二十一	第二十二
第百三十二條	第百三十三條	第百三十四條	第百三十五條	第百三十六條	第百三十七條	第百三十八條	第百三十九條	第百四十條	第百四十一條	第百四十二條	第百四十三條	第百四十四條	第百四十五條	第百四十六條	第百四十七條	第百四十八條	第百四十九條	第百五十條	第百五十一條	第百五十二條	第百五十三條
第二十三	第二十四	第二十五	第二十六	第二十七	第二十八	第二十九	第三十	第三十一	第三十二	第三十三	第三十四	第三十五	第三十六	第三十七	第三十八	第三十九	第四十	第四十一	第四十二	第四十三	第四十四

刑法註釋  
再版  
卷三

東京圖書館  
新門  
十一部  
三九架  
號類





刑法註釋卷三

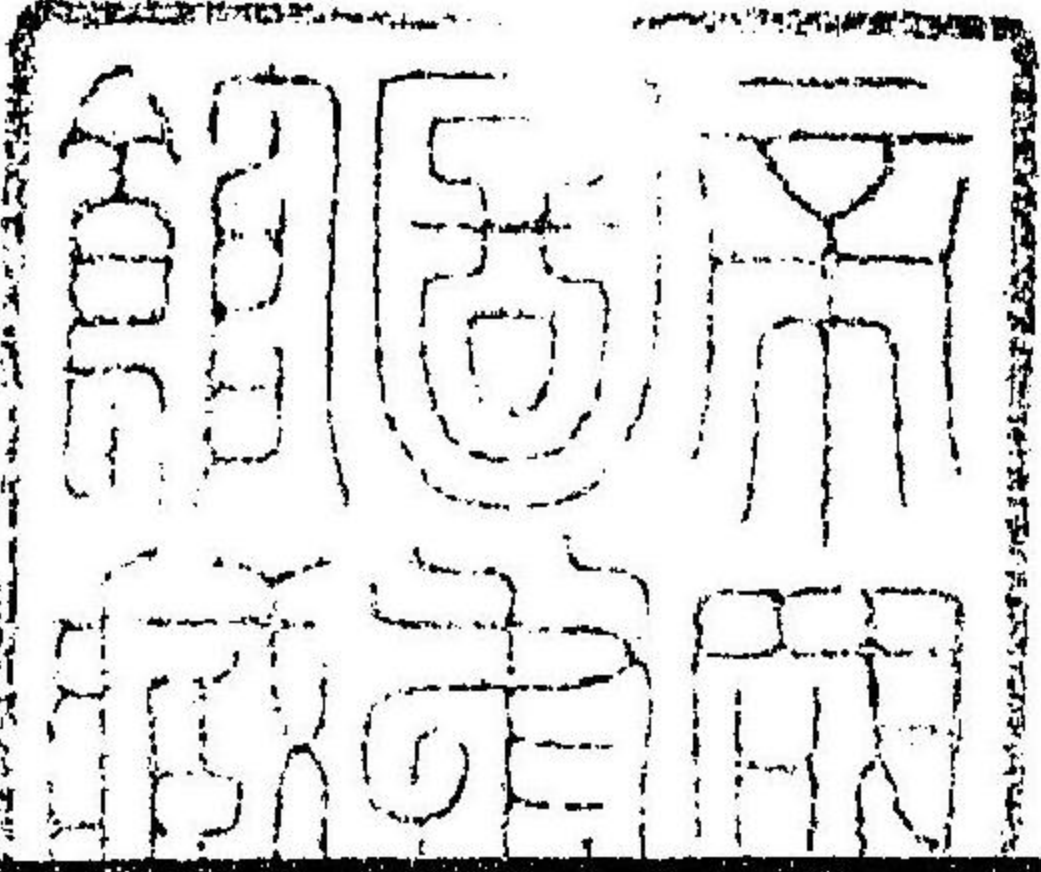
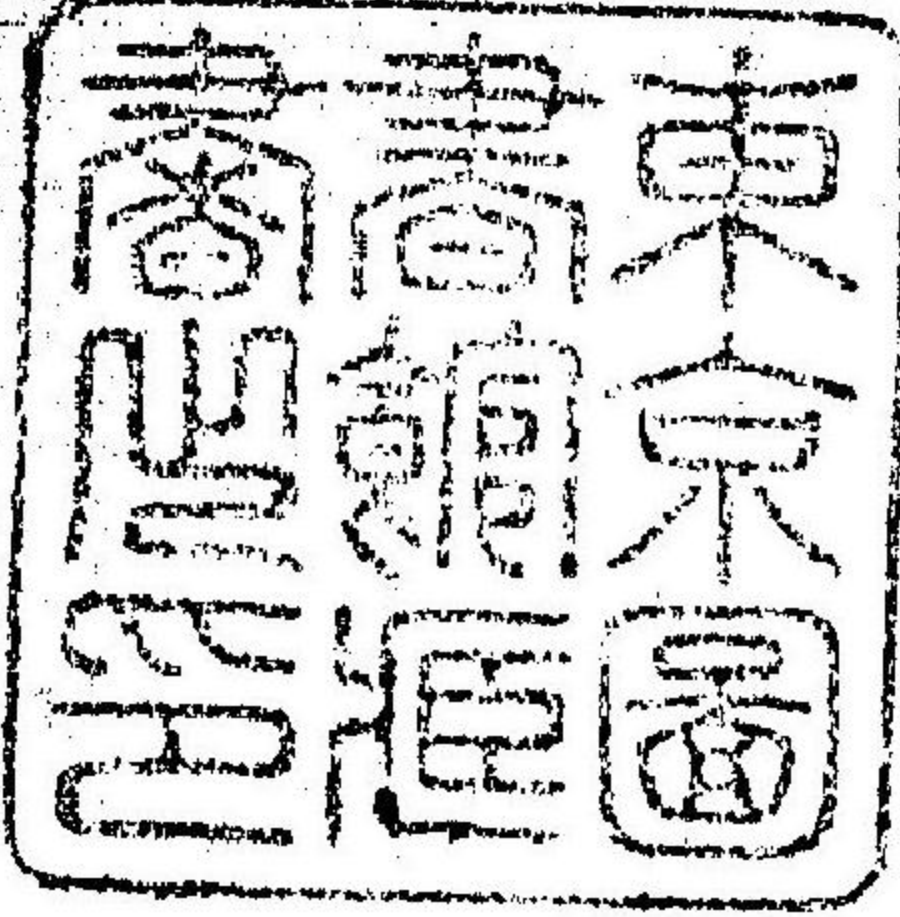
○第二編凡テ百七十六條 公益ニ關スル重罪輕罪

此刑法ヲ分ツテ第四編ト爲シ第一編ハ總則  
第二編ハ公益ニ關スル重罪輕罪第三編ハ身  
體財產ニ對スル重罪輕罪第四編ハ違警罪ナ  
リ第二編ヲ分ツテ九章百七十六條ト爲ス  
公益ニ關スル重罪輕罪トハ一般ノ公益即チ  
國安ヲ害スル罪ヲ云フ

○第一章凡テ五條 皇室ニ對スル罪

皇室ニ對スル罪ヲ公益ニ關スル罪ノ第一ニ





刑法註釋卷三

○第二編凡テ百七十六條公益ニ關スル重罪輕罪

此刑法ヲ分ツテ第四編ト爲シ第一編ハ總則

第二編ハ公益ニ關スル重罪輕罪第三編ハ身

體財産ニ對スル重罪輕罪第四編ハ違警罪ナ

リ第二編ヲ分ツテ九章百七十六條ト爲ス

公益ニ關スル重罪輕罪トハ一般ノ公益即チ

國安ヲ害スル罪ヲ云フ

○第一章凡テ五條皇室ニ對スル罪

皇室ニ對スル罪ヲ公益ニ關スル罪ノ第一ニ



置クモノハ國安ヲ害スルノ之ヨリ大ナルモ  
ノナケレハナリ

第一百十六條 天皇三后皇太子ニ對シ危害ヲ加  
ヘ又ハ加ヘントシタル者ハ死刑ニ處ス

本條ハ往昔所謂ノ謀反及ヒ大逆ナル者ナリ

然ルニ本朝ハ皇統連綿トシテ古來ヨリ未タ

曾テ皇室ニ對シ罪ヲ犯セル者之レ無ク後日

ト雖モ亦絶無ノ事タルカ故ニ既ニ新律綱領

編纂ノ時之ヲ掲クルヲ憚レリ今ヤ勢ヒ之

ヲ掲ケサルヲ得サルモノハ此刑法ハ歐洲

諸國ノ法制ニ倣ヒ法律ニ正條ナキモノハ何

等ノ所爲ト雖モ之ヲ罰スルヲ得サル原則

ナレハ若シ本條ヲ設ケサル時ハ恐クハ一般

ノ人民ニ對スル罪ト同一視センヲ故ニ特

ニ其刑ヲ重クシ皇室ニ對スル罪ヲ掲クル所

以ナリ則チ天皇三后及ヒ皇太子ノ玉體ニ對

シ危難傷害ヲ加ヘタル者ハ謀故殺殴打創傷

若クハ健康ヲ害ス可キ物品ヲ施用シ其他監

禁脅迫遺棄等ノ罪ヲ云フ勿論之ヲ加ヘント

シタル未遂犯罪ノ時ト雖モ死刑ニ處ス天皇



トハ太上天皇ヲ包括シ三后トハ太皇太后皇太后皇后ヲ包括ス皇女皇孫皇太子ノ妃ハ皇族ニ對スル罪ニ入ル可キモノトス

第百十七條 天皇三后皇太子ニ對シ不敬ノ所為アル者ハ三月以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ヲ附加ス皇陵ニ對シ不敬ノ所為アル者亦同シ

前條ハ玉體ニ對スル罪ヲ云ヒ本條ハ尊敬ヲ缺ク罪ヲ云フ天皇三后及ヒ皇太子ニ對シ其御前ニ係ルト否トヲ分タス不敬ノ所為罵詈

侮辱誹毀強訴等一切ノ不敬ヲ云フアル者ハ輕罪ノ刑ト為シ三月以上五年以下ノ期限重禁錮ニ處シ且二十圓以上二百圓以下ノ罰金ヲ附加ス本條ノ權衡ハ第百四十一條ト見合セ特ニ其刑ヲ重クシタルナリ則チ第百四十一條ニハ官吏ノ職務ニ對シ其目前ニ於テ侮辱シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮五圓以上五十圓以下ノ罰金トアリ其事犯異ナルヲナシト雖モ其刑實カニ輕シ是レ皇室ヲ重ニスル所以ナリ



皇陵ニ對スル罪ヲ本條ニ於テ特ニ掲ケサル時ハ恐クハ人民ノ墳墓ニ對スル罪ト同一視センコトヲ人民ノ墳墓ニ對スル罪ハ三月以上三年以下ノ重禁錮五圓以上五十圓以下ノ罰金トアリ〔第二百六十五條ヲ見ルヘシ〕皇陵ニ對シ不敬ノ所爲アル者例ハ皇陵ヲ汚損シ又ハ發掘スルノ類ハ一層其刑ヲ重クシ前項ノ不敬ト同刑ニ處ス不敬ノ所爲ニハ或ハ大ナルコトアリ或ハ小ナルコトアレハ乃チ刑ノ範圍ヲ廣クシ三月ヨリ五年二十圓ヨリ二百圓

ト爲シタルナリ

第百十八條 皇族ニ對シ危害ヲ加ヘタル者ハ死刑ニ處ス其危害ヲ加ヘントシタル者ハ無期徒刑ニ處ス

皇族ニ對スル罪ハ天皇陛下ニ對スル罪ト宜ク差等アルヘキモノナリ併シナカラ皇族ノ身體ニ危害ヲ加ヘタル時ハ其差等ヲ爲ス不能ハサレハ之ヲ死刑ニ處スレトモ其危害ヲ加ヘントシタル未遂犯罪ノ場合ニテハ第百十六條ト區別ヲ爲シ死刑ニ處セスシテ之ヲ



無期徒刑ニ處スルナリ

第百十九條 皇族ニ對シ不敬ノ所爲アル者ハ  
二月以上四年以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上百  
圓以下ノ罰金ヲ附加ス

皇族ニ對シ不敬ノ所爲アル者モ亦天皇陛下  
ニ對シ不敬ノ所爲アル者ト區別ヲ爲シ第百  
十七條ノ權衡ニ依リ減輕シテ二月以上四年  
以下ノ重禁錮十圓以上百圓以下ノ罰金ト爲  
セリ

皇族ノ墳墓ニ對スル所爲ハ一般人民ノ墳墓

ニ對スル罪ト異ナルヲナシ

第百二十條 此章ニ記載シタル罪ヲ犯シ輕罪  
ノ刑ニ處スル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ  
付ス

第百十六條及ヒ第百十八條ハ重罪ナレハ別  
ニ宣告ヲ用ヒス各本刑短期三分ノ一ニ等シ  
キ時間監視ニ付スル法ナレハ別ニ言フヲ  
俟タス第百十七條及ヒ第百十九條ハ輕罪ナ  
リ輕罪ハ總則第三十八條ニ輕罪ニ附加スル  
監視ハ各本條ニ於テ之ヲ記載ストアリ皇室



ニ對スル罪ハ最モ重大ナレハ其再犯ヲ防カ  
ン為メ輕罪ト雖モ警察吏ノ監視ニ付ス可シ  
其期限ハ六月ヨリ二年マテノ時間ヲ定メ主  
刑ト同時ニ宣ス可キモノトス

○第二章 凡テ二節 十五條 國事ニ關スル罪

第百二十一條ヨリ第百三十五條マテノ一章  
ヲ國事犯ノ罪ト為シ死刑ノ外ハ流刑禁獄及  
ヒ輕禁錮ノ閏刑ヲ設ケ以テ別ニ之ヲ處分ス  
可キヲ云フ何故ナレハ國事犯ハ多クハ時  
勢ノ變遷ニ因リ政體上ヨリ起ル犯罪ナレハ

彼ノ偷盜姦淫等ノ常事犯ト同一視シ難ク况  
ヤ卑賤ナル使役ニ服スルノ刑ニ處スルハ情  
ニ於テ最モ忍ヒサルモノアリ故ニ閏刑ヲ設  
ケテ別ニ其處分ヲ為スナリ

○第一節 内亂ニ關スル罪

第百二十一條ヨリ第百二十八條マテノ一節  
ヲ内亂ノ罪ト為ス内亂トハ外患ニ對スル義  
ニシテ内國ノ騷亂ヲ起ス罪ヲ云フ

第百二十一條 政府ヲ顛覆シ又ハ邦土ヲ僭竊  
シ其他朝憲ヲ紊亂スルヲ目的ト為シ内亂ヲ



起シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

本條ハ内亂ヲ起ス可キノ目的ヲ掲ケテ國事

犯ト稱ス可キ者ヲ示スナリ政府ヲ顛覆スト

ハ例ハハ立君政體ヲ廢シテ共和政府ヲ創立

セント欲シ又ハ内閣ヲ變更シ若クハ各官署

ヲ興廢セント欲スルノ類邦土ヲ僭竊ストハ

例ハ九州或ハ蝦夷地方ニ割據シテ旗ヲ舉

ケ若クハ土地ヲ掠略シ又ハ占有シテ獨立ス

ルノ類朝憲ヲ紊亂ストハ例ハ政體若クハ

法律ヲ改革シ又ハ皇嗣ノ順序ヲ紊亂シ或ハ

郡縣ノ制ヲ廢シテ封建ニ改メント欲スルノ

類以上ニ記載スル目的ヲ以テ兵器ヲ弄ヒ内

國ノ騷亂ヲ起シタル者ハ其害全國ノ安危ニ

關スレハ總則ニ照ラシ皆正犯ト爲シ各自ニ

其刑ヲ科ス可キモノナレトモ數千百人ノ多

キヲ盡ク死刑ニ處スルトハ到底行ハレ難キ

トナレハ其情狀ヲ量リ輕重ヲ分テ處斷スル

ト左ノ如シ

一 首魁及ヒ教唆者ハ死刑ニ處ス

首魁ハ即チ張本人ナリ教唆者ハ即チ煽動者



ナリ孰レモ内亂ヲ釀シ國安ヲ害スル根據ナル者ナレハ其原ヲ剷絶セサレハ恐クハ其禍害再ヒ生シ數千萬ノ生靈ヲシテ塗炭ニ陥ラシメンコトヲ故ニ首魁及ヒ教唆者ヲ死刑ニ處ス

二 群衆ノ指揮ヲ爲シ其他樞要ノ職務ヲ爲シタル者ハ無期流刑ニ處シ其情輕キ者ハ有期流刑ニ處ス

一 軍一隊ノ長ト爲リ群衆ヲ指揮シ又ハ内亂ノ機密ニ干與シ緊要ノ職務ヲ執リタル者ハ

其所犯重シト雖モ總テ首魁及ヒ教唆者ニ服從シテ事ヲ爲セハ之ト同刑ニ處スルハ少シク酷ニ似タリ因テ其情狀ノ輕重ヲ量リ重キ者ハ無期流刑ニ處シ輕キ者ハ十二年以上十五年以下ノ有期流刑ニ處スルナリ

三 兵器金穀ヲ資給シ又ハ諸般ノ職務ヲ爲シタル者ハ重禁獄ニ處シ其情輕キ者ハ輕禁獄ニ處ス

現ニ自ラ騷亂ヲ共ニセスト雖モ武器彈藥器械金銀糧食等ヲ其黨類ニ資給シテ内亂ヲ助



ケタル者又ハ樞要ノ職務ニ非サル種々ノ内  
 亂ニ關スル職務ヲ執リタル者ハ前項ニ比ス  
 レハ其事ヲ爲スト小ニシテ其情モ亦輕ケレ  
 ハ前項ノ刑ヨリ減輕シ重キ者ハ九年以上十  
 一年以下ノ重禁獄ニ處シ輕キ者ハ六年以上  
 八年以下ノ輕禁獄ニ處ス以上ハ國事犯ノ重  
 罪ニ處スル者ヲ云フ

四教唆ニ乘シテ附和隨行シ又ハ指揮ヲ受ケテ  
 雜役ニ供シタル者ハ二年以上五年以下ノ輕禁  
 錮ニ處ス

教唆者ノ教唆ニ乘シテ内亂ヲ起スニ附和隨  
 行シテ別ニ事ヲ爲サス又ハ隊長ノ指揮ヲ受  
 ケテ兵器金穀等ヲ運輸シ其他一切ノ雜役ニ  
 供シタル者ハ止タ内亂ノ事ニノミ使役セラ  
 レタル輕犯人ナレハ其情狀甚タ輕シ故ニ之  
 ヲ輕罪ト爲シ二年以上五年以下ノ輕禁錮ニ  
 處ス其禁錮ニ罰金ヲ附加セサルモノハ首魁  
 以下罰金ヲ附加セサルニ因ル抑モ此ノ如キ  
 輕犯人ハ素ヨリ烏合ノ徒ナレハ人員幾許ナ  
 ルヲ料リ知ル可カラス實際盡ク之カ處刑



ヲ為シ難シ多クハ臨時赦典ヲ乞フテ免罪ス  
可キ者ナラン乎

第二百二十二條 内亂ヲ起スノ目的ヲ以テ兵器  
彈藥船舶金穀其他軍備ノ物品ヲ劫掠シタル者  
ハ已ニ内亂ヲ起シタル者ノ刑ニ同シ  
本條ノ意ハ前條ニ記載シタル内亂ノ罪ヲ以  
テ罰ス可キ者ハ必シモ兵ヲ舉ケ政府ニ抗敵  
セスト雖モ已ニ其目的ヲ以テ著手シタル時  
ハ内亂ヲ起シタル者ト同視スルヲ云フ故  
ニ内亂ノ用ニ供ス可キ目的ヲ以テ政府又ハ

人民所有ノ兵器彈藥船舶金穀其他軍用ノ物  
品ヲ劫奪掠取シタル時ハ未タ兵ヲ舉ケスト  
雖モ已ニ兵ヲ舉ケテ内亂ヲ起シタル者ト看  
做シ前條ニ記載シタル區別ニ從テ各其刑ニ  
處ス可シ

第二百二十三條 政府ヲ變亂スルノ目的ヲ以テ  
人ヲ謀殺シタル者ハ兵ヲ舉ルニ至ラスト雖モ  
内亂ト同ク論シ其教唆者及ヒ下手者ヲ死刑ニ  
處ス

本條ハ政事上ノ憤懣ヲ抱キ大臣ヲ刺殺ヤシ



トスル兇徒ヲ處分スル爲メニ設クルノ法ナ  
リ喰違又ハ清水谷ノ變ノ如キハ固ヨリ此條  
ニ依リ處分ス可キモノトス是レ則チ政體ヲ  
變亂セントスル目的ヲ以テ其障礙トナル可  
キ要路ノ人ヲ謀殺セントスルニアレハ内亂  
ノ公然兵ヲ擧ルカ如キニハ非サレトモ原ト  
政事上ヨリ起ル犯罪ナレハ内亂ノ罪ト同ク  
論シ其教唆シタル者ハ其場ニ在ラスト雖モ  
現ニ其場ニ在テ手ヲ下シ人ヲ殺シタル者ト  
同ク皆死刑ニ處ス教唆者下手者ノ外金銀器

具ヲ資給シ又ハ附和隨行スル者ハ第百二十  
一條ノ區別ニ從テ處分ス可シ但此條ノ罪ハ  
謀殺セントシテ人ヲ傷シ又ハ人ヲ傷セスト  
雖モ已ニ其事ヲ行ヒオシタカ  
アキラカ犯跡顯著ナル時ハ乃チ  
死刑ニ處スルナリ後條ニ於テ詳カニ之ヲ説  
明ス可シ

第百二十四條 前三條ノ罪ハ未遂犯罪ノ時ニ  
於テ乃チ本刑ヲ科ス

第百二十一條ノ罪ハ若シ其目的ヲ遂ケタル  
時ハ之ヲ罪ト爲シ罰スルヲ得サレハ固ヨ



リ未遂犯罪ノ時ノミ本刑ヲ科ス可キ者ナリ  
第百二十二條第百二十三條ノ罪ヲ犯サント  
シテ已ニ其事ヲ行フト雖モ意外ノ障礙又ハ  
舛錯ニ因リ未夕遂ケサル時ハ通常ノ重罪ナ  
レハ一等又ハ二等ヲ減ス可キモノナレトモ  
内亂ニ關スル未遂犯罪ニ於テハ其罪全國ノ  
安危ニ係ル最モ重大ナル事件ナレハ將來ヲ  
深ク警シムル爲メ未遂犯罪ト雖モ仍ホ本刑  
ニ處ス可キヲ云フ

第百二十五條 兵隊ヲ招募シ又ハ兵器金穀ヲ

準備シ其他内亂ノ豫備ヲ爲シタル者ハ第百二  
十一條ノ例ニ照シ各一等ヲ減ス  
内亂ノ陰謀ヲ爲シ未夕豫備ニ至ラサル者ハ各  
二等ヲ減ス

本條ハ總則第百十一條ニ謂フ所ノ本條別ニ  
刑名ヲ記載スル者ニ照應スルナリ國事犯ハ  
通常ノ罪ト異ナリ國家ノ興廢ニ係リ事重大  
ニ渉ル犯罪ナレハ止夕豫備陰謀ニシテ未夕  
著手セサルモノト雖モ之ヲ不問ニ措ク可カ  
ラス故ニ私ニ兵隊ヲ招募シ又ハ兵器金穀ヲ



準備シ其他内亂ヲ起スヘキ豫備ヲ爲シ未タ  
 其事ヲ行ハサル者ト雖モ通常ノ犯罪ノ如ク  
 之ヲ不問ニ措カス則チ第百二十一條ニ記載  
 シタル區別ニ從ヒ各一等ヲ減ス可シ首魁及  
 ヒ教唆者ハ無期流刑ニ處シ群衆ノ指揮ヲ爲  
 シ其他樞要ノ職務ヲ爲ス者ハ有期流刑又ハ  
 重禁獄ニ處シ兵器金穀ヲ資給スル者ハ輕禁  
 獄又ハ二年以上五年以下ノ輕禁錮ニ處シ教  
 唆ニ乘シテ附和隨行シ又ハ指揮ヲ受ケテ雜  
 役ニ供スル者ハ一年六月以上三年九月以下

ノ輕禁錮ニ處ス可シ

内亂ノ陰謀ヲ爲シ己ニ其事ヲ決議一致スレ  
 トモ前項ノ豫備ニ至ラサル者ハ罪跡微少ニ  
 シテ僅カニ内亂ノ崩シアリト言フニ過ギス  
 故ニ第百二十一條ニ記載シタル區別ニ從ヒ  
 各二等ヲ減ス通常ノ罪ハ未遂犯罪ノ時一等  
 又ハ二等ヲ減シテ其豫備陰謀ハ罪ヲ問ハサ  
 レトモ内亂ニ於テハ然ラス未遂犯罪ノ時乃  
 チ本刑ヲ科シ豫備陰謀ニシテ一等又ハ二等  
 ノ減スルナリ



第二百二十六條 内亂ノ豫備又ハ陰謀ヲ爲スト  
雖モ未タ其事ヲ行ハサル前ニ於テ官ニ自首シ  
タル者ハ本刑ヲ免シ六月以上三年以下ノ監視  
ニ付ス

本條ハ總則第八十八條ニ謂フ所ノ本條別ニ  
自首ノ例ヲ掲ケタル者ニ照應スルナリ通常  
犯罪ノ自首ハ本刑ニ一等ヲ減スルノ法ナレ  
トモ内亂偽造貨幣偽證誣告等ハ自首スレハ  
全ク本刑ヲ免ス可シ此特別法ヲ設クル所以  
ハ豫備又ハ陰謀ニ於テハ未タ社會ニ毫モ罪

跡ヲ顯ハサ、ル前ナレハ悔悟自首シテ其事  
實ヲ陳述シ同類ヲ發露シ禍害ヲ剷絶シ及ヒ  
國安ヲ維持スルヲ以テ其效其罪ヲ贖フニ足  
ル又自首シテ免罪スル者ハ一ニハ兇賊匪徒  
ヲ告知セシムルカ爲メナリ併シナカラ自首  
シテ免罪ヲ得レトモ仍ホ監視ニ付スルモノ  
ハ其所犯重大ニシテ且真心改良ハ未タ豫メ  
知ル可カラサレハ其再犯ヲ防カン爲メ六月  
以上三年以下之ヲ警察吏ノ監視ニ付ス其期  
限ハ裁判確定ノ日ヨリ之ヲ起算シ且期限間



ハ公權ヲ行フコトヲ停止シタルモノトス本條ノ監視ハ之ヲ重罪ノ監視トモ又輕罪ノ監視トモ定ムルコトヲ得ス輕罪ノ監視ハ第三百二十五條ニアリ

第二百二十七條 内亂ノ情ヲ知テ犯人ニ集會所ヲ給與シタル者ハ二年以上五年以下ノ輕禁錮ニ處ス

本條ノ意ハ前數條ニ記載シタル内亂ノ犯人ナルコトヲ知り未タ内亂ヲ起サ、ル前ニ於テ内亂ノ事ヲ評議セシムル爲メ犯人ニ其集會

所ヲ貸與ヘタル者ハ内亂ノ事ニ預カラスト雖モ止タ其家屋ヲ給與シタルノミヲ以テ二年以上五年以下ノ輕禁錮ニ處ス本條ノ外家屋ヲ給與シテ其罪ヲ罰ス可キモノハ偽造貨幣ノ爲メ房屋ヲ給與スルト阿片烟吸食ノ爲メ房屋ヲ給與スルト博奕ノ爲メ房屋ヲ給與スルトニアリ是レ則チ家屋ヲ給與スル者多少其犯罪ヲ補成スレハ固ヨリ其罰ナカル可カラス

若シ内亂鎮定ノ後逃走シタル犯人ヲ藏匿シ



若クハ隠避セシメタル者ハ第百五十一條ニ依ル可シ

第百二十八條

内亂ニ乘シテ人ノ身體財產ニ

對シ内亂ノ目的ニ關セサル重罪輕罪ヲ犯シタ

ル者ハ通常ノ刑ニ照シ重キニ從テ處斷ス

内亂ノ際ニ於テハ假令人ノ身體財產ニ對シ

害ヲ加フルモ其罪ヲ論スルヲ得サレトモ

若シ内亂ノ勢ニ乘シテ宿怨ヲ懷キ若クハ私

慾ヲ逞フセンカ爲メ人ヲ殺傷シ或ハ強姦強

盜放火等ノ罪ヲ犯シ全ク内亂ノ目的ニ關セ

サル者ハ之ヲ内亂ノ罪ト爲シ罰ス可カラス

乃チ通常ノ刑ニ照ラシ處斷ス可キモノトス

併シナカラ之ヲ通常ノ刑ニ照ラセハ却テ内

亂ノ罪ヨリ輕キ時ハ内亂ノ罪ノ重キニ從テ

處斷ス可キヲ云フ例ハ群衆ノ指揮ヲ爲

シタル者別ニ強盜ヲ犯セハ通常ノ刑輕ク内

亂ノ刑重シ内亂ノ重キニ從ヒ無期流刑又ハ

有期流刑ニ處ス可シ若シ群衆ノ指揮ヲ爲シ

タル者別ニ故殺ヲ犯セハ内亂ノ刑輕ク通常

ノ刑重シ通常ノ刑ニ從ヒ無期徒刑ニ處スル



ノ類

○第二節 外患ニ關スル罪

第百二十九條ヨリ第百三十五條マテノ一節  
ヲ外患ニ關スルノ罪ト爲シ外國ヲ助ケテ我  
カ國安ヲ害スル重罪輕罪ヲ云フ

第百二十九條 外國ニ與シテ本國ニ抗敵シ又  
ハ外國ト交戰中同盟國ニ抗敵シ其他本國ニ背  
叛シテ敵兵ニ附屬シタル者ハ死刑ニ處ス

本條ハ日本人民外國ニ服從シテ日本國ニ敵  
對シ又ハ外國ト戰爭中日本國ト和親ナル同

盟國ニ抗敵シ例ハ日本國ト支那國ト合縱  
ノ時ニ際シ支那ノ軍兵ニ敵對シ支那國ヲシ  
テ我ニ對シ怨ヲ懷カシムルノ類又ハ戰爭中  
日本國ニ背叛シ敵國ノ兵ニ附屬シテ之ヲ助  
ケタル者ハ其情殊ニ惡ム可ク其害實ニ懼ル  
可キカ故ニ之ヲ死刑ニ處ス

第百三十條 交戰中敵兵ヲ誘導シテ本國管内  
ニ入ラシメ若クハ本國及ヒ同盟國ノ都府城塞  
又ハ兵器彈藥船艦其他軍事ニ關スル土地家屋  
物件ヲ敵國ニ交付シタル者ハ死刑ニ處ス



本條ハ日本人自カラ兵器ヲ用ヒテ日本國ニ敵對スルニ非サレトモ外國ト戰爭中敵兵ヲ誘導シテ日本管内ニ入ルヲ容易ナラシメ又ハ日本國若クハ同盟國ニ屬スル都府城塞兵器彈藥船艦其他軍事ニ關スル土地家屋物件等ヲ敵國ニ交付シテ外國ヲ利シ本國ヲ害スル者ハ其所爲直チニ兵器ヲ持シテ敵對スルニ異ナラス故ニ前條ト同シク之ヲ死刑ニ處ス可シ

第三百三十一條 本國及ヒ同盟國ノ軍情機密ヲ

敵國ニ漏泄シ若クハ兵隊屯集ノ要地又ハ道路ノ險夷ヲ敵國ニ通知シタル者ハ無期流刑ニ處ス  
 敵國ノ間諜ヲ誘導シテ本國管内ニ入ラシメ若クハ之ヲ藏匿シタル者亦同シ

敵國ノ間諜ト爲リ本國及ヒ同盟國ノ陸海軍ニ係ル軍情ノ機密ヲ知テ之ヲ敵國ニ内通シ若クハ陸海軍隊ヲ屯集シタル緊要ノ地位又ハ地形ノ圖面等ヲ交付シテ道路ノ險夷ヲ敵國ニ通知シタル者ハ恐クハ軍機ノ不利ヲ致



シ本國ヲ害シテ敵國ヲ利セントヲ然レトモ其罪前條ヨリ稍ヤ輕キ所アレハ之ヲ無期流刑ニ處ス

敵國ヨリ本國ノ内情ヲ探偵スルカ爲メ來リタル間諜ヲ内地ニ誘導シテ探偵ヲ爲サシメ又ハ密ニ間諜ヲ藏匿シテ追捕ヲ免カレシムル者ハ直チニ身自カラ間諜トナルニ非サレトモ其所爲全ク間諜ト異ナラサレハ前項ト同シク之ヲ無期流刑ニ處ス

第三百三十二條 陸海軍ヨリ委任ヲ受ケ物品ヲ

供給シ及ヒ工作ヲ爲ス者交戦ノ際敵國ニ通謀シ又ハ其賂遺ヲ收受シテ命令ニ違背シ軍備ノ缺乏ヲ致シタル時ハ有期流刑ニ處ス

本條ハ外國ト交戦中陸海軍ヨリ請負ヲ爲シタル者其約ヲ履行セ<sup>ル</sup>シテ軍備ノ缺乏ヲ致シタル罪ヲ云フ其意ハ商工ノ陸海軍ヨリ請負ヲ爲シテ兵器彈藥糧食器具等ヲ陸海軍ニ供給ス可キ者若クハ陳營城砦屯所等ノ建築ヲ請負タル者外國ト交戦ノ際敵國ト謀ヲ通シ又ハ敵國ノ賄賂ヲ受ケテ故サラニ陸海軍



ノ命令ニ違背シ其契約ノ期限ヲ失シ又ハ是等ノ物件ヲ送致セス因テ我カ軍ノ準備ヲ缺乏シタル時ハ其害亦大ナレハ之ヲ有期流刑ニ處ス

第百三十三條 外國ニ對シ私ニ戰端ヲ開キタル者ハ有期流刑ニ處ス其豫備ニ止ル者ハ一等又ハ二等ヲ減ス

日本國ト未タ交戦セサル外國ニ對シ私ニ陸海軍ノ兵ヲ調發シ外國ト戰端ヲ開キタル者ハ和親國ハ勿論假令今將サニ敵國ニ戰書ヲ

送ラントスル際ニ於ケルト雖モ其所業タル政府ヲ蔑視シ兵權ヲ擅用ス其罪亦大ナレハ之ヲ有期流刑ニ處ス若シ未タ戰端ヲ開クニ至ラス豫備ニ止リタル時ト雖モ再ヒ其罪ヲ犯サンコトヲ防禦シ將タ社會ノ安寧ヲ保護スル爲メ仍ホ本刑ニ一等ヲ減シテ重禁獄ニ處スルカ或ハ二等ヲ減シテ輕禁獄ニ處ス可シ乃チ總則第百十一條ニ記載スル本條別ニ刑名ヲ掲ケ豫備ヲ罰スルモノナリ本條ハ先年己ニ朝廷ノ裁可ヲ受ケス自ラ黨與ヲ募リ朝



鮮征伐ノ陰謀ヲ企テシ犯人ニ正ニ適用ス  
可キモノトス

第三百三十四條 外國交戦ノ際本國ニ於テ局外  
中立ヲ布告シタル時其布告ニ違背シタル者ハ  
六月以上三年以下ノ輕禁錮ニ處シ十圓以上百  
圓以下ノ罰金ヲ附加ス

外國ト外國トノ間ニ於テ戦端ヲ開キ日本國  
ハ之ニ關係ナク局外中立ヲ布告シタル時其  
布告ニ違背シテ一方ノ爲メニ兵器彈藥船舶  
等ヲ賣與シ又ハ兵馬糧食ノ類ヲ貸與シ其他

中立ノ布告ヲ破ル可キ所爲アル時ハ恐クハ  
他ノ一方ノ外國ヲシテ日本國ヲ仇視シ釁隙ヒキ  
ヲ生スルニ至ラン故ニ其犯人ヲ六月以上三  
年以下ノ輕禁錮十圓以上百圓以下ノ罰金ニ  
處ス

第三百三十五條 此章ニ記載シタル罪ヲ犯シ輕  
罪ノ刑ニ處スル者ハ六月以上二年以下ノ監視  
ニ付ス

本條ハ内亂ニ關スル罪ト外患ニ關スル罪ト  
ヲ合ハセ第百二十一條ヨリ第百三十五條マ



テヲ一章ト爲シ此章ニ記載シタル罪ヲ犯シ  
輕罪ノ刑ニ處スル者ハ其刑輕シト雖モ國事  
ニ關スル犯罪ナレハ其事柄重シ故ニ刑期滿  
限ノ後再犯ヲ防カン爲メ六月以上二年以下  
ノ監視ニ付ス

○第三章

凡テ九節 四十六條 靜謐ヲ害スル罪

靜謐オモカシヲ害スルトハ止タ一般ノ平和ヲ害シ民  
間ノ騷擾オモカシヲ致スマテノ一ニシテ彼ノ國安ヲ  
害スル國事犯ノ如キ者ヲ云フニ非ス  
靜謐ヲ害スル罪ヲ分テ九節ト爲ス

○第一節 兇徒聚衆ノ罪

第三百三十六條 兇徒多衆ヲ嘯聚シテ暴動ヲ謀  
リ官吏ノ説諭ヲ受クルト雖モ仍ホ解散セサル  
者首魁及ヒ教唆者ハ三月以上三年以下ノ重禁  
錮ニ處ス附和隨行シタル者ハ二圓以上五圓以  
下ノ罰金ニ處ス

本條ヨリ第三百三十八條マテノ一節ヲ一揆暴  
動ノ罪ト爲ス其目的タルヤ多クハ租稅ソウゼイヲ廢  
弛シ法令ヲ變革シ或ハ官吏ノ處分ヲ改正セ  
ントシ多人數徒黨ヲ結ヒ暴動ヲ行フニアリ



其所行稍ヤ内亂ニ類似スト雖モ内亂ハ政府全體ニ係リ兇徒聚衆ハ一箇ノ官廳又ハ一箇ノ官吏ニ對シ兇暴ヲ行フニ止レリ其多人數ヲ嘯聚シテ暴動ヲ謀リタリト雖モ未タ事ヲ行ハサル前官吏ヨリ解散ス可キノ命ヲ受ケ直チニ解散スレハ則チ陰謀ニ止レハ固ヨリ罪ナキ者ナリ若シ其說諭ヲ受クレトモ解散セズ仍ホ強テ其場所ニ止リタル時ハ官吏ノ命ヲ拒ミタル者ナレハ其罪ヲ罰セサルヲ得ス首魁及ヒ教唆者ハ愚民ヲ煽動スルノ根據

ナレハ其情最モ重シ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處ス附和隨行ハ煽動セラレテ烏合シタル者ナレハ其情輕シ止夕二圓以上五圓以下ノ罰金ニ處スルノミ若シ此場合ニ於テ官吏ヲ毆傷スルヲアレハ第四百十條ニ依リ重キニ從テ處斷ス可キモノトス

第三百三十七條 兇徒多衆ヲ嘯聚シテ官廳ニ喧鬧シ官吏ニ強逼シ又ハ村市ヲ騷擾シ其他暴動ヲ爲シタル者首魁及ヒ教唆者ハ重懲役ニ處ス其嘯聚ニ應シ煽動シテ勢ヲ助ケタル者ハ輕懲



役ニ處シ其情輕キ者ハ一等ヲ減ス附和隨行シ  
 タル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス  
 兇徒多衆ヲ嘯聚シテ已ニ暴動ヲ行ヒ官廳ニ  
 喧鬧シテ妨害ヲ爲シ官吏ニ強逼シテ畏懼セ  
 シメ又ハ村市ヲ騷擾スルニ至テハ一般ノ平  
 和ヲ破リ害ヲ社會ニ與フレハ其罪重シ首魁  
 及ヒ教唆者ヲ重懲役ニ處ス其首魁教唆者ニ  
 非スシテ愚民ヲ煽動シ徒黨ノ勢力ヲ助ケタ  
 ル者ハ輕懲役ニ處ス煽動シテ勢ヲ助ケタル  
 者ト雖モ或ハ其情狀ノ輕キ者ハ之ヲ重罪ニ

處スルハ酷ナルニ依リ此ノ如キ者ハ一等ヲ  
 減シテ二年以上五年以下ノ重禁錮ニ處ス可  
 シ附和隨行シタル者ハ大抵煽動又ハ脅迫ニ  
 因リ止ムコトヲ得ス一時來應ヤシ輩ナレハ其  
 原由ヲ知ラサル者頗ル多カラシ此ノ如キ者  
 夥多ニシテ一々算フ可カラサレハ止夕罰金  
 ノミニ處ス可シ

第三百三十八條 暴動ノ際人ヲ殺死シ若クハ家  
 屋船舶倉庫等ヲ燒燬シタル時ハ現ニ手ヲ下シ  
 及ヒ火ヲ放ツ者ヲ死刑ニ處ス



首魁及ヒ教唆者情ヲ知テ制セサル者亦同シ  
 前條ニ記載シタル兇徒暴動ヲ行フノ際ニ當  
 ツテ惡意ヲ挾サミ人ヲ謀故毆殺シ若クハ家  
 屋船舶倉庫等ニ放火シテ之ヲ燒燬シタル時  
 ハ現ニ手ヲ下シ人ヲ殺シタル者及ヒ現ニ火  
 ヲ放チタル者ヲ死刑ニ處ス例ハ五人ニテ  
 各手ヲ下シ又ハ各火ヲ放チタル時ハ五人皆  
 死刑ニ處ス他ノ殺罪放火ニ關係セサル者ハ  
 止夕前條ノ刑ニ處スルノミ首魁及ヒ教唆者  
 ト雖モ初ヨリ放火殺人ノ情ヲ知ラサル時ハ

前條ノ重懲役ニ處シ情ヲ知テ其犯人ヲ制止  
 セサル時ハ犯人ノ共犯ト看做シ同ク之ヲ死  
 刑ニ處ス可キヲ云フ

○第二節 官吏ノ職務ヲ行フヲ妨害スル罪

此節ハ人民ヨリ官吏ニ對シ公務ノ執行ヲ妨  
 害スル罪ヲ云ヒ第二百七十六條以下ハ官吏  
 ヨリ人民ニ對シ自由ヲ妨害スル罪ヲ云フ彼  
 是相照應スル者トス一體官吏ノ職務ヲ行フ  
 ヲ妨害スル罪ハ多人數ニテ犯スト云フニ  
 アラス何トナレハ多人數ナル時ハ自カラ兇



徒聚衆ノ本條ニ依テ罰ス可キモノナレハナ  
リ

第一百三十九條 官吏其職務ヲ以テ法律規則ヲ  
執行シ又ハ行政司法官署ノ命令ヲ執行スルニ  
當リ暴行脅迫ヲ以テ其官吏ニ抗拒シタル者ハ  
四月以上四年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五  
十圓以下ノ罰金ヲ附加ス  
暴行脅迫ヲ以テ其官吏ノ爲ス可カラサル事件  
ヲ行ハシメタル者亦同シ

職務ノ字ハ本條ノ眼目トス若シ其職務ヲ以

テセサル官吏ニ抗拒シ又ハ毆打創傷ヲ爲シ  
タルハ固ヨリ本條ノ問フ所ニアラス本條ハ  
官吏其職務ヲ以テ正當ニ法律及ヒ規則ニ從  
テ處分ヲ爲シ例ハハ裁判官ノ審判ヲ爲シ稅  
關官吏ノ荷物ヲ検査スルノ類又ハ行政及ヒ  
司法官署ノ命令ヲ施行スル時ニ際シ例ハハ  
租稅ヲ徵收シ又ハ犯人ヲ逮捕スルノ類暴行  
又ハ脅迫ヲ以テ官吏ニ抵抗シ其執行ヲ妨害  
シタル者ハ並ニ四月以上四年以下ノ重禁錮  
五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス



若シ官吏ヲシテ強ヒテ其爲ス可カラサル不正ノ事件ヲ行ハシメタル者(例ハ會計吏ニ暴行ヲ加ヘ定規ニ違ツテ金穀ヲ支給セシメ又ハ獄吏ヲ脅迫シテ滿期ニ至ラサル囚徒ヲ釋放セシムルノ類)ハ其罪狀前項ニ異ナルナケレハ之ヲ同刑ニ處ス前項ハ官吏ニ抗拒シテ其職務ヲ執行セシメス後項ハ官吏ヲ強ヒテ不正ノ事ヲ執行セシムルヲ云フ

第四百十條 前條ノ罪ヲ犯シ因テ官吏ヲ毆傷シタル者ハ毆打創傷ノ各本條ニ照シ一等ヲ加

ハ重キニ從テ處斷ス

前條ニ記載シタル官吏ノ職務ヲ行フヲ抗拒スル爲メ又ハ官吏ノ爲ス可カラサル事件ヲ行ハシムル爲メ暴行脅迫ヲ爲シ因テ其官吏ヲ毆打創傷シタル者ハ第二百九十九條以下ノ毆打創傷ノ各本條ニ照ラシ一等ヲ加ヘ重キニ從テ處斷ス例ハ豫メ謀テ官吏ヲ毆打シ因テ死ニ致シタル時ハ第三百二條ニ照ラシ一等ヲ加ヘ又ハ逮捕官吏ノ罪人ヲ追捕スルニ拒捕シテ之ヲ毆殺シタル時ハ第三百三



條ニ照ラシ一等ヲ加ヘ並ニ無期徒刑ニ處ス  
 若シ官吏ヲ殴打創傷シ二十日以上ノ時間疾  
 病ニ罹ラシメタル者ハ第三百一條ニ照ラシ  
 一等ヲ加フレハ一年三月以上三年九月以下  
 ノ重禁錮トナレハ前條ノ刑已ニ重シ此傷合  
 ニハ止夕前條ノ刑ヲ科ス可シ若シ官吏ノ職  
 務ヲ行フ時ニ非スシテ毆傷シタルハ則チ一  
 般人民ヲ毆傷スル罪ト異ナルトナシ  
 第四百一條 官吏ノ職務ニ對シ其目前ニ於  
 テ形容若クハ言語ヲ以テ侮辱シタル者ハ一月

以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓  
 以下ノ罰金ヲ附加ス

其目前ニ非スト雖モ刊行ノ文書圖畫又ハ公然  
 ノ演說ヲ以テ侮辱シタル者亦同シ

官吏ノ職務ヲ行フ時其目前ニ於テ侮辱スル

トハ例ハハ裁判官ノ裁判所ニ於テ裁判ヲ爲

ス時其目前ニ於テ拳ヲ擧ケテ裁判官ヲ毆ン

ト欲スルノ形容ヲ爲シ或ハ高聲ヲ放チ之ヲ

叱罵スルカ如キハ特ニ官吏ヲ侮辱スルノミ

ナラス暗ニ政府ヲ蔑如スルモノナレハ一月



以上一年以下ノ重禁錮五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス若シ官吏ヲ叱罵シタルト雖モ其職務ノ外ニ在ル時ハ違警罪ノ本條ニ掲クル人民ニ對スル罵詈訾弄罪ヲ受ク可キノミ官吏ノ目前ニ非スト雖モ侮辱ノ所爲ヲ罰セサルトヲ得サルモノハ官吏ノ職務ニ對シテ行ノ文書ヲ以テ惡事醜行ヲ摘發シ若クハ圖畫ヲ以テ醜態ヲ畫キ又ハ衆人ヲ集メ公然ノ演說ヲ以テ誹毀シタル時ハ其害永ク社會ニ存ス故ニ目前ニ非スト雖モ前項ト同刑ニ處

シ第三百五十八條ニ記載シタル一般ノ誹毀罪ヨリ一層其刑ヲ嚴ニス

○第三節 囚徒逃走ノ罪及ヒ罪人ヲ藏匿スル罪

此節ニ記載スル罪ハ未決已決ノ囚徒自カラ逃走シ又ハ他人之ヲ逃走セシメ若クハ其刑ヲ免カレシメンカ爲メ隱匿スルトヲ云フ

第四百十二條 已決ノ囚徒逃走シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處ス

若シ獄舎獄具ヲ毀壞シ又ハ暴行脅迫ヲ爲シテ



逃走シタル者ハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ  
處ス

本條ノ意ハ重罪輕罪違警罪ヲ分タス己ニ刑  
ノ執行ヲ受ケ囚人ト爲テ身體ノ自由ヲ停止  
セラレタル者獄舎ノ間隙ヲ窺テ逃走シ或ハ  
看守者及ヒ護送者ノ懈怠ナルニ乘シテ逃走  
シタル時ハ固ヨリ其罪アリト雖モ元來遁カ  
ル可キ者ヲ閉鎖シタルニアレハ其逃避ヤン  
トヲ思フハ自然ノ情ナリ深ク之ヲ惡ム可キ  
モノニ非ス因テ一月以上六月以下ノ重禁錮

ニ處ス罰金ヲ附加セサルモノハ囚徒ニ罰金  
ヲ科スルト雖モ之ヲ出スル能ハサル者多ケ  
レハナリ

併シナカラ獄舎獄具手鎖連鎖檻車其他繩ノ

類ヲ毀壞シ又ハ看守者若クハ護送者ニ暴行

ヲ加ヘ又ハ脅迫ヲ爲シテ逃走スルニ至テハ

其情前項ノ比ニ非ス甚タ惡ム可キ者ナレハ

其刑モ亦重シ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ

處ス其刑ヲ執行スル順序ハ總則第九十五條

ニ照ラシ先ツ其定役ニ服ス可キ刑ヲ執行シ



初犯再犯共ニ定役ニ服ス可キ刑又ハ共ニ定  
役ニ服セサル刑ナレハ先ツ其重キ刑ヲ執行  
ス若シ無期徒刑ノ囚本條ノ罪ヲ犯シタル時  
ハ本條ノ刑ヲ言渡シ別ニ獄則ニ從テ其懲罰  
ヲ加ヘ且總則第五十七條ニ照ラシ終身假出  
獄ヲ許サ、ルヨリ外ナシ

前項ハ竊カニ逃走スレハ其刑輕ク後項ハ獄  
舎獄具ヲ破壊シテ逃走スレハ其刑重シ恰モ  
竊盜ノ強盜ニ於ケルカ如シ大ニ之ヲ區別セ  
サル可カラス若シ逃走先ニテ再ヒ別罪ヲ犯

シタル時ハ數罪俱發ヲ以テ論ス可キモノト  
ス

第四百十三條 已決ノ囚徒逃走ノ罪ヲ犯スト  
雖モ再犯ヲ以テ論セス其刑期限内再ヒ逃走シ  
タル者ハ再犯ヲ以テ論ス

本條ハ刑期内ニ再ヒ逃走ノ罪ヲ犯シタル者  
ニ非サレハ再犯加重ヲ以テ論ス可カラサル  
ト云フ何故ニ再ヒ逃走セサレハ再犯加重  
ヲ以テ論ス可カラサル歟曰ク本條ノ罪ハ全  
ク繫獄セラル、ニ因テ生スル罪ナレハ始テ



逃走シタル者ヲ罰スルカ爲メノ本刑ナリ再  
ト其刑期限内ニ於テ逃走シタル時始テ逃走  
再犯ト爲シ本條ノ刑ニ一等ヲ加フ可キヲ  
云フ刑期限内再ヒ逃走スルトハ例ハ禁錮  
四年ノ刑ニ處セラレ二年ヲ經過シタル後獄  
舎獄具ヲ毀壞シテ逃走シ更ニ三月ヲ經テ捕  
獲ニ付キ第四百二十二條ニ照ラシ重禁錮三年  
ヲ以テ其逃走罪ヲ處斷セラル、ニ當リ之ク  
計算ヲ爲スニハ逃走中ノ日數三月ヲ除キ前  
犯ノ殘期二年ト逃走罪ノ三年トヲ併ハセ更

ニ五年ノ刑ヲ受ク可シ其五年内ニ再ヒ逃走  
シタル者ハ再犯ヲ以テ論シ加等ス可キヲ  
云フ

第四百十四條 未決ノ囚徒入監中逃走シタル  
者ハ第四百十二條ノ例ニ同シ但原犯ノ罪ヲ判  
決スル時ニ於テ數罪俱發ノ例ニ照シテ處斷ス  
前二條ハ已決囚徒ノ逃走罪ヲ云ヒ本條ハ未  
決囚徒ノ逃走罪ヲ云フ未決ノ囚徒訊問中勾  
留ヲ受ケシ者逃走シタル時ト已決ノ囚徒逃  
走シタル時ト其逃走ヲ爲スニ於テ輕重ナケ



レハ則チ第四百二十二條ト同刑ニ處ス可シ竊  
 カニ逃走シタル者ハ一月以上六月以下ノ重  
 禁錮ニ處シ獄舎獄具ヲ毀壞シテ逃走シタル  
 者ハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處スル  
 ヲ云フ然レトモ未決囚徒ノ逃走罪ヲ判決ス  
 ルハ原犯ノ罪ト同時ニ爲ス可シ若シ原犯無  
 罪ニ歸スレハ直チニ逃走ノ刑ヲ科シ若シ有  
 罪ニ決スレハ原犯ノ罪ト逃走ノ罪トヲ以テ  
 數罪俱發ノ例ニ照ラシテ處斷ス可シ  
 例文第四百二十二條ノ刑ト記載セスシテ例ト

記載スルモノハ一條内ニ刑名ノ二様アル時  
 ハ毎ニ刑ト記載セスシテ例ト記載ス是レ其  
 文例ナリ以下倣之

第四百十五條 囚徒三人以上通謀シテ逃走シ  
 タル時ハ第四百二十二條ノ例ニ照シ各一等ヲ加  
 フ

本條以下ハ已決未決ノ囚徒ヲ合セテ云フ囚  
 徒二人マテハ通謀シテ逃走シタリトモ第百  
 四十二條ニ依リ處斷ス可シト雖モ三人以上  
 ノ人數通謀シテ逃走スルニ至テハ社會ノ害



ヲ爲ス極メテ多シ故ニ第四百十二條ノ刑  
 ニ照ラシ各一等ヲ加ヘ竊カニ逃走シタル者  
 ハ一月七日以上七月十五日以下ノ重禁錮ニ  
 處シ若シ獄舎獄具ヲ毀壞シテ逃走シタル者  
 ハ三月二十二日以上三年九月以下ノ重禁錮  
 ニ處ス本條ノ加等ハ徒流ノ囚徒三人以上通  
 謀シテ逃走シタル時ト雖モ仍ホ一等ヲ加フ  
 可シ止タ無期刑ノ囚ハ之ニ重禁錮ヲ科スル  
 モ益ナケレハ獄則ニ從テ別ニ處分ス可キノ  
 ミ

第四百十六條 囚徒ヲ逃走セシムル爲メ兇器  
 其他ノ器具ヲ給與シ又ハ逃走ノ方法ヲ指示シ  
 タル者ハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ二  
 圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス囚テ囚徒ノ  
 逃走ヲ致シタル時ハ一等ヲ加フ

前條マテハ囚徒ノ自カラ逃走シタル罪ヲ云  
 ヒ本條以下ハ他人ヨリ囚徒ヲ助ケテ逃走セ  
 シムル罪ヲ云フ本條ノ罪ハ多クハ朋友親戚  
 ニ於テ其囚徒ヲ慫レシ又ハ甲乙共犯ノ内甲  
 ノ捕ヘラレタルカ爲メ乙モ亦其罪ノ發覺セ



ニテヲ恐レ獄吏ノ懈怠ヲ窺ヒ又ハ之ニ賄賂  
 ヲ贈テ囚徒ニ逃走ヲ得セシメント欲シ暴行  
 脅迫ヲ爲ス可キ兇器又ハ獄舎獄具ヲ毀壞ス  
 可キ器具ヲ囚徒ニ給與シ又ハ逃走ス可キ手  
 段方略ヲ指示シタル者ナリ一體囚徒ノ逃走  
 ヲ欲スルハ自然ノ情ナレハ之ニ逃走ス可キ  
 一ヲ勸ムルハ恰モ火ニ油ヲ注クカ如シ其害  
 ヲ惹キ起ス可キ根元ヲ釀セハ其情重シ止夕  
 給與指示シタルノミヲ以テ三月以上三年以  
 下ノ重禁錮二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處

ス若シ囚徒其兇器器具ヲ用ヒ又ハ其方法ニ  
 因テ逃走ヲ遂ケタル時ハ多少害ヲ社會ニ與  
 フレハ其給與指示シタル者本刑ニ一等ヲ加  
 ヘ三月二十二日以上三年九月以下ノ重禁錮  
 二圓五十錢以上二十五圓以下ノ罰金ニ處ス  
 可シ本條罰金ヲ附加スルモノハ囚徒ニ非ス  
 シテ犯シタル者ナレハ之ヲ出ス可キカアル  
 モノトス

第四百十七條 囚徒ヲ劫奪シ又ハ暴行脅迫ヲ  
 以テ囚徒ノ逃走ヲ助ケタル者ハ一年以上五年



以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

若シ重罪ノ刑ニ處セラレタル囚徒ニ係ル時ハ輕懲役ニ處ス

本條ハ舊律ニ所謂劫囚ノ罪ニ當ル可キ者ニ

シテ看守者或ハ護送者ニ對シカシノオセテ強力ヲ用ヒテ

未決ノ囚徒若クハ輕罪以下已決ノ囚徒ヲ獄

舎又ハ途中ヨリ劫奪シ或ハ暴行脅迫ヲ用ヒ

囚徒ヲ助ケテ逃走ヲ容易ナラシメタル者ナ

リ其所業官ニ抗シテ暴ヲ行フ情狀甚タ惡ム

可シ故ニ一年以上五年以下ノ重禁錮五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス

重罪ノ刑ニ處セラレタル囚徒ニハ或ハ死刑

ニ該ル可キ者モアレハ之ヲ劫奪シ又ハ逃走

セシムル時ハ社會ノ平和ヲ害スルヲ多シ輕

罪ノ刑ヲ以テ其罪ヲ罰スルニ足ラス故ニ之

ヲ輕懲役ニ處ス

第四百十八條 囚徒ヲ看守シ又ハ護送スル者

囚徒ヲ逃走セシメタル時ハ亦前條ノ例ニ同シ

本條ハ看守者又ハ護送者ノ囚徒ヲ逃走セシ



メタル罪ヲ云フ囚徒ノ看守者又ハ護送者ハ其職掌上ニ於テ專ラ囚徒ヲ看護檢束ス可キ任ナルニ却テ賄賂其他ノ囑託ヲ受ケ其職務ヲ顧ミス囚徒ヲシテ之ヲ逃走セシメ又ハ故サラニ自己ノ惡意ヲ以テ囚徒ヲ逃走セシメタル時ハ其所爲甚タ重シ因テ前條ニ記載シタル暴行脅迫ヲ以テ逃走セシメタル罪ト同刑ニ處ス

例文前條ニ同シト記載シタル時ハ一條内ニ一刑名ヲ記載シタルモノヲ云ヒ前條ノ例ニ

同シト記載シタル時ハ一條内ニ刑名ノ二様アルモノヲ云フ是レ其文例ナリ以下倣之  
 第四百十九條 前數條ニ記載シタル輕罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケサル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照シテ處斷ス

第四百十二條ヨリ前條マテニ記載シタル罪ハ社會ノ平穩ヲ害スル者ナレハ輕罪ノ未遂犯罪ト雖モ之ヲ不問ニ措ク可カラズ總則第百十二條第百十三條ニ照ラシ特ニ本條ヲ揭ケ已ニ遂ケタル者ノ本刑ニ一等又ハ二等ヲ



減シテ其刑ニ處ス可シ若シ本條ヲ揭ケサル時ハ輕罪ノ未遂犯罪ハ罰スルヲ得サレハナリ

第百五十條 看守又ハ護送者其懈怠ニ因リ囚徒ノ逃走ヲ覺ラサル時ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

若シ重罪ノ刑ニ處セラレタル囚徒ニ係ル時ハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

囚徒ノ看守者又ハ護送者其職務ノ懈怠ニ因リ囚徒ノ獄舎若クハ途中ヨリ逃走スルヲ

覺知セサルハ全ク過誤ニ出タリト雖モ仍ホ其職務怠慢ノ罪アリ然レトモ之ニ實決ノ刑ヲ科スルハ稍ヤ穩當ナラサレハ止夕二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處スルノミ但懈怠ニ因ルニ非ス常ニ注意ヲ加ヘタルニ仍ホ逃走シタルノ判然ナル時ハ其罪ヲ問フヲナシ重罪ノ刑ニ處セラレタル囚徒ノ逃走シタルヲ覺ラサルハ輕罪以下ノ囚徒ノ逃走シタルヲ覺ラサルトハ少シク間アリ因テ前項ヨリ罰金ヲ重クシ三圓以上三十圓以下ト爲ス



是レ第四百四十七條第四百十八條ニ於テ重罪ノ刑ニ處セラレタル者ハ別ニ其刑ヲ重クシタルノ例ニ從ヒタルナリ

第五百一十一條 犯罪人又ハ逃走ノ囚徒及ヒ監視ニ付セラレタル者ナルコトヲ知テ之ヲ藏匿シ若クハ隱避セシメタル者ハ十一日以上一年以下ノ輕禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

若シ重罪ノ刑ニ處セラレタル囚徒ニ係ル時ハ一等ヲ加フ

本條ノ意ハ罪ヲ犯シ已ニ官ニ發覺シタル犯罪人又ハ已決未決ノ囚徒逃走シタル者若クハ監視ニ付セラレタル者ナルコトヲ知り其刑ヲ免カレシメンカ爲メ故意ヲ以テ之ヲ私家ニ藏匿シ若クハ他所ニ隱避セシメタル者ハ罪人ヲ補助シテ官ノ逮捕ヲ妨礙ス其罪十一日以上一年以下ノ輕禁錮二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

重罪ノ刑ニ處セラレタル囚徒ノ逃走シタルコトヲ知リ之ヲ藏匿シ若クハ隱避セシメタル



者ハ其情前項ヨリ重シ故ニ一等ヲ加ヘ十三  
 日以上一年三月以下ノ輕禁錮二圓五十錢以  
 上二十五圓以下ノ罰金ニ處ス  
 藏匿隱避スル罪人ニハ或ハ死刑徒流刑ニ該  
 ル者アリ或ハ禁錮拘留ニ該ル者アリテ其情  
 狀相同シカラス若シ重キ刑ヲ設クル時ハ輕  
 キ罪人ヲ藏匿隱避スル者ニ對シ酷ニ過キ又  
 輕キ刑ヲ設クル時ハ重キ罪人ヲ藏匿隱避ス  
 ル者ニ對シ寬ニ過ク故ニ之ヲ輕禁錮ト爲シ  
 定役ニ服スル刑ヲ用ヒス

第百五十二條 他人ノ罪ヲ免カレシメント  
 圖リ其罪證ト爲ル可キ物件ヲ隱蔽シタル者ハ  
 十一日以上六月以下ノ輕禁錮ニ處シ二圓以上  
 二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス  
 本條ハ犯罪ノ證據ト爲ル可キ物件ヲ隱蔽シ  
 テ他人ノ罪ヲ免カレシメント圖リタル者  
 ナリ例ヘハ茲ニ謀殺故殺ノ罪ヲ犯シタル者  
 アリ之カ爲メニ其金双ヲ藏匿シ若クハ死屍  
 ヲ埋没スレハ其證憑ト爲ル可キ物件ヲ湮滅  
 シ罪跡ヲ隱蔽ス可シ假令裁判上犯人ヲ審斷



スルノ手續ニ害ナシト雖モ之ヲ十一日以上  
六月以下ノ輕禁錮二圓以上二十圓以下ノ罰  
金ニ處スルヲ云フ

第一百五十三條 前二條ノ罪ヲ犯シタル者犯人  
ノ親屬ニ係ル時ハ其罪ヲ論セス

第一百五十一條第一百五十二條ノ罪ハ犯人ノ親  
屬ニ係ル時ハ情ニ於テ親屬ノ罪ヲ免カレシ  
メンヲ欲スルハ自然ノ理ナリ是ヲ以テ親  
屬ヲ藏匿シ若クハ隱避セシメ又ハ爲メニ罪  
證ト爲ル可キ物件ヲ隱蔽シタリト雖モ親屬

容隱ヲ聽ルス可キ者トシ其罪ヲ論セス親屬  
トハ總則第一百四條ニ記載シタルモノヲ云  
フ

○第四節 附加刑ノ執行ヲ適ル、罪

剥奪公權及ヒ停止公權中私ニ其權ヲ行ヒ又  
ハ監視ノ期限内其規則ニ背キタル者ハ即チ  
附加刑ノ執行ヲ適レタルモノトス是等ノ犯  
人ハ刑法ニ於テ其罪ヲ問ハサル可カラス故  
ニ殊更ニ此一節ヲ設ケリ

第一百五十四條 公權ヲ剥奪セラレ又ハ公權ヲ



停止セラレタル者私ニ其權ヲ行ヒタル時ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

本條ノ意ハ重罪ノ刑ニ處セラレ終身公權ヲ剥奪セラレタル者未タ復權ヲ得サル前ニ於テ總則第三十一條ニ記載シタル公權ヲ私ニ行ヒ又ハ輕罪ノ刑ニ處セラレ公權ヲ行フヲ停止セラレタル者其期限中ニ公權ヲ私ニ行ヒタル時ハ例ヘハ私ニ教師ト爲リ又ハ後見人ト爲ルノ類一月以上一年以下ノ重禁錮

二圓以上十圓以下ノ罰金ニ處シ更ニ公權ヲ剥奪シ及ヒ公權ヲ停止ス可シ

第一百五十五條 監視ニ付セラレタル者其規則ニ違背シタル時ハ十五日以上六月以下ノ重禁錮ニ處ス

監視ハ主刑ヲ免シテ止タ付スル者アリ死刑無期刑ノ期滿免除ヲ得テ付スル者アリ有期重罪ノ刑及ヒ輕罪ノ刑ニ於テ其主刑滿限ノ後付スル者アリ假出獄中特別ニ付スル者アリ孰レモ其規則アリテ遵守ス可キ條件ヲ設



ケリ例ハハ毎月一兩度或ハ一週間ニ一度其地ノ警察所ニ到リ又ハ檀ニ他ノ地方ニ出テ夜中擅ニ徘徊シ又ハ酒樓其他遊興ノ場所ニ到リ若クハ擅ニ住居ヲ轉スルヲ得サルノ類其規則ニ違背シタル時ハ十五日以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ已ニ付シタル監視ノ殘期ヲ更ニ受ケシム可シ罰金ヲ附加セサルモノハ刑期中ナレハ其資力ナキ者トス

第百五十六條 前二條ノ罪ハ其刑期限内再ヒ犯シタル時ニ非サレハ再犯ヲ以テ論スルヲ

得ス

本條ノ意ハ公權ヲ剝奪セラレ又ハ公權ヲ停止セラレタル者私ニ其權ヲ行ヒタルカ爲メ第百五十四條ニ照ラシ一月以上一年以下ノ重禁錮二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處セラレタル後其期限内ニ於テ再ヒ公權ヲ行ヒタル時ハ再犯ヲ以テ論シ一等ヲ加ハ一月七日以上一年三月以下ノ重禁錮二圓五十錢以上十二圓五十錢以下ノ罰金ニ處ス  
監視ニ付セラレタル者其規則ニ違背シタル



カ爲メ第百五十五條ニ照ラシ十五日以上六月以下ノ重禁錮ニ處セラレタル後其監視ノ期限間再ヒ規則ニ違背シタル時ハ再犯ヲ以テ論シ一等ヲ加ヘ十八日以上七月十五日以下ノ重禁錮ニ處スルヲ云フ但復權ヲ得タル後又ハ停止公權及ヒ監視ノ期限ヲ經過シタル後更ニ他ノ罪ヲ犯シ再ヒ剝奪公權停止公權及ヒ監視ニ付セラレタル時ハ私ニ其權ヲ行ヒ又ハ規則ニ違背スルトモ再犯ヲ以テ論スルヲ得ス

○第五節 私ニ軍用ノ銃礮彈藥ヲ製造シ及ヒ所有スル罪

軍用ノ銃礮彈藥トハ陸海軍ニ於テ特別ニ其制法ヲ定メ專ハラ軍用ニ供ス可キ者ニシテ尋常一般ノ銃礮彈藥ヲ言フニ非ス此ノ如キ物件ハ民間ニ於テ擅ニ製造シ及ヒ所有ス可キモノニアラサレハ社會ノ靜謐ヲ保ツ爲メ其製造者及ヒ所有者ヲ罰スルナリ  
第百五十七條 官命ヲ受ケス又ハ官許ヲ得スシテ陸海軍ノ用ニ供スル銃礮彈藥其他破裂質



ノ物品ヲ製造シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ヲ附加ス其之ヲ輸入シタル者亦同シ

前項ノ物品ヲ私ニ販賣シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

陸海軍ニ於テ使用スル所ノ銃礮彈藥又ハ破裂質ノ危険ナル物品ハ一般ノ安全ヲ保護スル爲メ人民ノ私造ヲ嚴禁ス故ニ官ヨリ命令ヲ受ケス又ハ官ヨリ准許ヲ得スシテ私ニ製

造シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ十圓以上二百圓以下ノ罰金ニ處ス又其私造ヲ罰スルノミナラス已ニ製造シタル物件ヲ私ニ外國ヨリ輸入シタル者モ亦官許ヲ受ケス濫リニ危害品ヲ國內ニ入ルレハ之ヲ同刑ニ處ス可シ

前項ノ銃礮彈藥其他破裂質ノ物品ハ官ノ許可ヲ得サレハ販賣スルヲ許サス若シ私ニ之ヲ販賣シタル者ハ私ニ製造シ及ヒ輸入シタルヨリ其情負カニ輕シ前項ノ半期半額ナ



ル一月以上一年以下ノ重禁錮十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百五十八條 前條ノ罪ヲ犯スト雖モ職工又ハ雇人ニシテ止タ正犯ノ使令ニ供シタル者ハ各本刑ニ照シ二等ヲ減ス

職工雇人ノ製造輸入販賣スルハ總則ニ照ラセハ共犯人ニシテ同一ノ刑ニ處ス可キ者ナレ共一體職工雇人ハ給料ノ爲メニ專ラ正犯ノ使令ニ供シ之ヲ製造輸入販賣シタル者ナレハ其情正犯ヨリ輕シ故ニ正犯ノ受ク可キ

各本刑ニ照ラシ二等ヲ減ス例ハ銃礮彈藥ヲ製造シタル職工及ヒ之ヲ輸入シタル雇人ナレハ一月以上一年以下ノ重禁錮十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處シ若シ之ヲ販賣シタル雇人ナレハ十五日以上六月以下ノ重禁錮五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス可キヲ云フ

第百五十九條 前二條ノ罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケサル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照シテ處斷ス  
第百五十七條ニ記載シタル製造輸入販賣ノ



罪及ヒ前條ニ記載シタル職工雇人ノ罪ハ孰  
レモ輕罪ナリト雖モ其罪タル國ノ靜謐ニ關  
スル者ナレハ未タ其事ヲ遂ケサル時ト雖モ  
之ヲ不問ニ措ク可カラス總則第百十二條ノ  
例ニ照ラシ一等又ハ二等ヲ減シテ其刑ニ處  
ス例ハ職工ニシテ使令ヲ受ケ銃礮彈藥等  
ヲ製造セントスルニ其器械<sub>ル</sub>鈍ナルヲ以テ  
中途ニ之ヲ廢止シタル時ハ職工ノ受ク可キ  
一月以上一年以下ノ重禁錮十圓以上百圓以  
下ノ罰金ヨリ未遂犯罪ヲ以テ二等ヲ減スレ

ハ十五日以上六月以下ノ重禁錮五圓以上五  
十圓以下ノ罰金ニ處ス可キヲ云フ

第百六十條 第百五十七條ニ記載シタル物品  
ヲ私ニ所有シタル者ハ二圓以上二十圓以下ノ  
罰金ニ處ス

第百五十七條ニ記載シタル陸海軍ノ用ニ供  
スル銃礮彈藥其他破裂質ノ物品ハ一般ノ危  
害ニ係レハ人民私ニ所有スルヲ許サス之  
ヲ所有スル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金  
ニ處ス其他陸海軍ノ用ニ供セサル兵器ト雖



モ官ノ認可ヲ得テ所有ス可キ物ヲ私ニ所有シタル時ハ其規則ニ從テ之ヲ沒收シ本條ノ刑ヲ以テ論スルノ限ニ在ラス

第百六十一條 第百五十七條ニ記載シタル物品ノ製造ニ供シタル器械ニシテ單ニ其用ニ供ス可キ者ハ何人ノ所有ヲ問ス之ヲ沒收ス

第百五十七條ニ記載シタル陸海軍ノ用ニ供スル物品ノ製造ニ用ヒタル器械ハ乃チ犯罪ノ用ニ供シタル物件ナレハ固ヨリ之ヲ沒收スヘシト雖モ其特ニ陸海軍ノ物品ニ供スル

器械ニシテ他ノ用ニ供ス可カラサルモノハ犯人ノ所有ニ係ルハ勿論他人ノ所有ニ係リ又ハ賣買典當ヲ爲シタリト雖モ直チニ之ヲ官ニ沒收ス可シ是レ總則第四十三條ニ記載シタル別ニ沒收ノ例ヲ定メタルモノナリ



1  
8  
5

刑  
法  
註  
釋  
卷  
三

刑  
法  
註  
釋  
卷  
三  
終



東 京 圖 書 館

八	五	二	一		
冊	號	架	函	屬	類